

シンガポール パイロット訓練施設での太陽光発電事業開始について ～順調に進展する太陽光発電事業、海外2件目の導入～

この度、当社の海外グループ会社である Airport Facilities Asia 社(所在地：シンガポール 代表者：田村 滋朗)は、シンガポールのセレター空港における航空産業団地：Seletar Aerospace Park 地区内に保有するパイロット訓練施設の屋上に太陽光発電設備を設置し、ご入居中の Airbus Asia Training Center 社（以下、AATC 社）に対して売電を開始いたしましたので、お知らせいたします。

今回設置した太陽光発電設備が発電した電力の全量を AATC 社に供給する PPA 契約を締結しており、初年度の発電量は 685MW を計画しています。これは、24 時間稼働である当該施設の総消費電力の約 2 割に相当します。

シンガポールでは、2021 年に導入された「Singapore Green Plan 2030」に基づいて、持続可能な開発の一環として再生可能エネルギーの導入が積極的に進められています。また、航空業界においても世界的に脱炭素に向けた動きが加速しています。当社グループはこの状況に応えるべく昨年 5 月に、同地区内に保有するエンジン整備工場に対して、当社グループ初となる海外での太陽光発電設備の設置、および売電事業を開始いたしました。これに続き、今回の事例が 2 例目となります。

今後も、脱炭素社会の実現に貢献すべく、国内外での太陽光発電事業の推進を目指すとともに、当社グループの収益源の多様化に努めてまいります。



【発電設備詳細】

設置施設	Airbus Asia training Center
用途	自家消費電力
年間発電量 (初年度)	約 685,000kWh
運用開始日	2024 年 12 月

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

空港施設株式会社 広報・IR 室

電話：03-3747-0953（9：00～17：00）

※土日祝日を除く